

議会だより のた

2025
1/31
第170号



第6回定例会（令和6年12月）など

新年のご挨拶…………… p 2
村政を問う（一般質問）…………… p 5～p 11
がんばる野田っ子…………… p 14

主な内容

12月に野田中学校で創作太鼓指導会が行われました。これまで12年間指導いただいている講師の佐藤三昭さん、高橋理沙さんと「12」ポーズでの1枚です。
(写真提供：野田中学校)

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

村民の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

議員一同、新年を迎え、皆様の負託に応えるべく、気持ちを新たにしております。更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、去年は、元日に発生した「令和6年能登半島地震」をはじめ多くの災害が各地で発生しました。今年も、どうか穏やかな年であることを祈っております。

また、地方創生が叫ばれる中、止まらない人口減少や物価高騰など、諸課題に一丸となって取り組んで参ります。

本年が、皆様にとりまして幸多き年になりますよう心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

議員一同



(前列左から) 山田陽子、米田忠一議長、米田徳一郎副議長
(後列左から) 小野寺豊、中川大和、中川昇、小野寺光男、前川安男、丹野和子、小野寺清貴

12月
定例会

交流物産等複合施設 指定管理者決まる

第6回野田村議会定例会が令和6年12月10日から13日までの4日間を会期として開催されました。

本定例会では、一般会計補正予算、条例の一部改正など議案13件、報告1件、承認1件、請願2件、議員発議案1件について審議を行い、12日には6人の議員が一般質問を行いました。



また、交流物産等複合施設の指定管理者を指定することの議案では「株式会社のだむら」に指定することが可決されました。

今回の補正は、歳入歳出それぞれ2億2883万8000円を増加し、総額を72億1424万円としました。歳出の主なものは、野田小学校整備事業、交流物産等複合施設整備事業及び低所得世帯物価高騰臨時給付金（仮称）給付事業等に要する経費のほか、給与と改定に伴う一般職給与等の人件費となっています。

今回の補正は、歳入歳出それぞれ2億2883万8000円を増加し、総額を72億1424万円としました。

一般会計補正
2億2883万
8000円増

補正予算

サケ資源
回復事業費補助金
858万2,000円

サケ資源の確保と持続のため、稚魚の大型化や強じん化、移入卵購入費ほかを補助。



交流物産等複合施設
整備事業
4,371万4,000円

開業に向け、商業棟、トイレ棟の必要な備品を整備。

野田小学校整備事業
6,670万8,000円

新校舎内で使用する机・イス、収納棚、ロッカー、カーテンなど備品等を整備。



●●● 請願 ●●●

第6回定例会（令和6年12月）までに受理した請願2件について総務教民常任委員会で審査を経て、本会議で審議しました。

受理番号	請願第3号	請願第4号
件名	県立久慈病院の医師等医療従事者の確保、高度医療機器の更新による機能の充実を求める請願	「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める意見書の提出を求める請願
請願者	久慈地域医療を守る会 代表 葦山 弘子	岩手県教職員組合県北支部 支部長 小関 高博
紹介議員	山田 陽子、丹野 和子	山田 陽子、丹野 和子
付託先	総務教民常任委員会	
審査結果	採択 → 県へ意見書提出	継続審査

あの質問は どうなりました??

過去の一般質問を受け、執行機関でどのような対応をしたのか。またどのように村政に反映されたか調査しました。

問 公園等への遊具等設置の多様性を

※令和5年3月定例会一般質問から

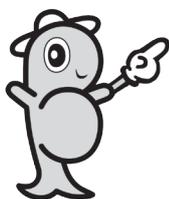
答 整備の充実を図っていく



～公園整備進行中!～

令和6年11月はじめには、ボールトランポリン、ベンチ増設、砂場が整備され、多くの利用者に愛される遊具が増えています。

(ボールトランポリンは安全のため冬期間の使用を中止しています)



携帯電話やスマートフォンのカメラ機能で読み取ると直接サイトにつながります

過去の「議会だより」は HPから見るができます

過去に発行された「議会だより のだ」は村のホームページで見ることができます。

村政を問う

議員 **6** 人が登壇

- 一般質問は、村の行政事務全般（一般事務）に関し、村の所見や疑義について質問することができます。定例会でのみ（原則）行うことができます。
- 質問時間は、1人60分までとなっており、1つの質問につき3回まで質問することができます。

質問議員（質問順）	質問事項	掲載ページ
おの 小野寺 ゆたか 豊	1 空き校舎（現小学校）の利活用について 2 地域おこし協力隊について 3 複合施設建設の関連について	6
なか 中川 のぼる 昇	1 物価高騰対策について 2 県立病院等経営計画における県立久慈病院の機能等について 3 県立久慈翔北高校野田校舎生徒への支援について 4 HPV予防接種について 5 次期村長選挙への対応について	7
まえ 前川 やす お安男	1 村道明内中平線について 2 住民懇談会「村長と語る会」について	8
たん 丹野 かず こ和子	1 物価高騰対策について 2 今後の保険証（国保・後期高齢者）の取り扱いについて 3 介護保険の地域支援事業について 4 住民懇談会「村長と語る会」について 5 「国民宿舎えぼし荘」の環境整備について	9
やま 山田 よう こ陽子	1 地域おこし協力隊について 2 漁業者支援について 3 涼海の丘ワイナリーについて 4 ごみ処理について 5 水道水調査について 6 災害避難行動について	10
まい 米田 とくいちろう 徳一郎	1 一次産業の課題と対策について 2 商工業対策について 3 都市計画区域の見直しと土地利用計画の判定について 4 復興交付金の過大受領について	11

隣接の山林の利活用計画を示せ

村長 山林も含め施設全体の魅力向上を目指す



小野寺 豊 議員

問

建設工事は急ピッチで進行している。開業準備は令和7年4月から、開業は令和7年春を予定と住民懇談会での説明があった。近隣の市町村に類似施設が多数ある中、差別化や相乗効果を期待して西側に隣接する山林を取得し整備するはずであったが、所有権移転等進捗状況について伺う。もし遅れるのであれば現地に完成予想図等を掲示するなど、情報発信をしてリピートを促すべきと考えるが。

村長

山林の一部に権利関係が複雑な案件



野田インターチェンジ近くに工事進行中

があり、権利関係の整理を行ってきた。今般、準備が整い売買契約が可能となり、年度内に所有権移転登記の完了見込みとなった。山林の取得には森林環境譲与税基金を活用し、他の施設との差別化を図るため、森林そのものを活用した気軽に楽しめる仕組みや機能を持たせたい。リピーターを増やすことは非常に重要であり、周辺施設との連携や交通の便の優位性も踏まえ、山林を含めた施設全体の魅力向上に取り組んでいく。



現「野田小学校」

移転後の「野田小校舎」利活用は

問

空き校舎（現小学校）の利活用促進のため、庁内に専門部署を設ける考えは。

村長

専門部署の設置は現在考えていない。

問

これまで検討した利活用促進の案件はあるか。村内の事業者から利用希望調査をし、ニーズの把握を急ぐべきと考える。

村長

案件については議員各位から提案のほか庁内で情報共有を

「地域おこし協力隊」

問

地域おこし協力隊の人数と活動分野は。また任期は1〜3年とのことであるが、今後この制度を継続するか。

村長

これまで本村に着任した隊員総数は12名で現在7名が第1次産業や福祉分野など、多方面で活動している。現在は制度導入から6年が経過し、今後も継続していく。

再質問

隊員の採用方法は。

村長

本人からの情報発信や国が情報発信する中で「野田村に行つてこういうことがしてみたい」というような申し込みを受け書類選考し、面接のうえ採用している。



中川 昇 議員

物価高騰対策

生活者・事業者に支援を

村長 交付金の配分後事業実施に取り組む

問

円安やロシアによるウクライナ侵攻等の影響により物価高騰が続き、村民の生活や生業に不安が増している。国では、自治体が地域の实情に応じて支援ができるよう「重点支援地方交付金」の拡充を行ったところであり、交付金を活用した対策が必要と考えるが。

村長

低所得世帯に対する支援については、住民税非課税世帯に3万円、同世帯内の子ども1人当たり2万円を加算して支給する。交付金の事業メニューについては各自治体別の配分額が現時点で未定のため、どういった支援が必要か検討を行い、配分額が分かり次第速やかな予算化と事業実施に向けて取り組んでいきたい。

県立久慈病院の機能強化を

問

岩手県医療局では、次期県立病院等経営計画をまとめ、計画で

は久慈病院は、一定の高度医療から身近な医療まで幅広く担う「ケアミックス・連携強化」の位置づけで、「がん」などの高度・専門医療は他病院と連携して対応するとしている。また、救急体制の医療従事者が減らされることによる。機能集約により診療科が減らされるなど、久慈病院の機能低下が危惧されるが。

村長

医療の高度・専門化や人口減少等による医療需要の変化の対応とともに、県立病院間の機能分化と連携強化を推進するもので、今後、がんや脳卒中等における高度・専門医療等は、センター機能を有する中央病院に集約されることとなり、県北地域の患者は距離的なハンデイが生じる恐れがあるのではと感じている。

また、医師不足が根本のところにあると認識しており、関係機関等への働きかけを進めていきたい。

県立久慈翔北高校野田校舎生徒への支援は

問

令和7年4月に開校となる県立久慈翔北高校は、野田校舎と門前校舎に分かれて学校生活が始まる。これまで「久慈工業高校を守り育てる会」が主体となり、さまざまな支援がなされてきたが、統合新設にあたり今後の存続に向けて通学費の負担軽減等、野田校舎生徒への支援が今以上に必要と考えるが。



今春から「野田校舎」としてスタート

村長

新設される高校は、独立校舎制となり、引き続き両校の校舎が活用されるが高校の運営体

制は大きく変わるため、高校側と協議しながら、「久慈工業高校を守り育てる会」の在り方や運営内容、支援方法を検討していきたい。

HPV予防接種を

問

HPV（ヒトパピローマウイルス）の予防接種を無料で受けられる「キャッチアップ接種」について、国は1年間延長する方針である。接種機会を逃した救済対象者には積極的な勧奨が望まれるが、本村の現状と対応は。

村長

国の方針に基づき令和4年度から3か年で接種勧奨を進めてきた。本年11月末時点で対象者109人中41人が全3回の接種を完了している。年度内に3回目の接種まで到達しない対象者には接種費用を助成することとし、新年度当初予算に計上したい。

【その他の質問】

○次期村長選挙への対応について

村道の拡幅を

村長 利用状況等を注視



前川 安男 議員

問 小中学校が同地区になり通学路になる村道明内中平線を拡幅すべきでは。

村長 三陸沿岸道路の開通により各路線の利用状況に変化があると認識している。小学校の完成後もふまえて利用状況等の推移を注視し、検討をしたいと考えている。

再質問 歩道だけでも先に検討しては。

村長 結構距離もあり、周辺の状況等危険な場所について精査しながら進められればと考えている。

住民懇談会の地区要望は

問 住民懇談会の各地区の要望等をいかに減らしていくつもりか。また、今後どのように開催していくつもりか。



狭い村道



対面で行われた「村長と語る会」

村長 事前に希望のあった村内9箇所で開催し、147人の参加をいただいた。要望等があっても開催を希望しない地区が6箇所あった。

要望内容については、すぐに対応できるもの、時間を要するもの、要望先が国や県など課題が多いものもある。対応を重ね要望に応じて参りたいと考えている。

また、開催方法については、地域の意向に合わせた開催方法を考え、各

地域の課題等に耳を傾けて参りたいと考えている。

再質問 住民懇談会で毎回要望が出ている三陸沿岸道路の玉川インターチェンジは、緊急時や災害時にぜひとも必要ではないか。

村長 今後の整備は、国の一一般会計予算となることと、今年度中に検討会議等も開きながら進められることと、交流、観光、物産等すべてにおいて重要な場所であることを国に訴え理解をいただけるよう動いている。



玉川インター予定地



丹野 和子 議員

物価高騰対策

低所得者世帯、事業者支援を

村長 必要な支援に向け取り組む

問 福祉灯油について、本年も昨年同様に住民税非課税世帯へ1万円を給付する予定か。実施するとした場合、いつ頃か。

村長 県が実施する高齢者世帯や障がい者世帯等の住民税非課税世帯に一世帯当たり7000円を支給する基準に対し、本村では対象世帯の拡大と金額の上乗せを行い、住民税非課税の全世帯に1万円分の商品券を支給する。12月下旬から配布できるよう事務を進める。

問 国からの地方支援交付金を利用して、中小企業、農林水産業、商店などの事業者支援メニューは考えられないか。

村長 物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、国の重点支援地方交付金を活用した支援を行いたい。各自治体の配分額が決まり次第、

村としての事業メニューを検討し、速やかな予算化と事業実施に取り組む。

今後の保険証の取り扱い

問 現行の保険証は、令和6年12月2日から新規発行がなくなり、マイナ保険証登録がない方は、今後資格確認書が交付される。この資格確認書を、要配慮者等が申請による交付の必要がなくなるよう、全対象者に交付してはどうか。

村長 国ではマイナ保険証利用を基本とする仕組みへ移行することとしており、資格確認書は必要な方に交付し、すべての方に交付するものとはされていない。交付

申請は代理申請も可能である。

問 令和6年10月28日から、マイナ保険証の利用登録解除ができるようになった。解除方法や、解除してもマイナポイントは返す必要がないなど、住民に知らせることが必要ではないか。

村長 マイナ保険証の利用登録や解除など、分かりにくいこともあるかと思う。個別の状況に応じて対応するので気軽に相談してほしい。

「村長」の語り」

問 住民懇談会は、村長をはじめ役場の方々の話を聞き、地域の課題を確認する貴重な機会だと思ふ。行政からも多くの地区で開催できるように働きかけてはどうか。

【その他の質問】
○介護保険の地域支援事業について
○「国民宿舎えぼし荘」の環境整備について



「村長と語る会」

村長 本年度も地域からの開催希望を募ったところ、村内9か所において懇談会を開催し、147人の参加者があった。村側としても住民の生の声を聴くことができ、貴重な機会と考えている。地域の意見を取り入れながら、懇談の場を増やすよう努めていく。

成果や課題は

村長 村への定住につながっている



山田 陽子 議員

問 地域おこし協力隊は本村で導入して7年目を迎えるが、これまでの成果と課題は。

村長 これまで本村に着任した総数は12名で、現在も7名の隊員が農業や漁業、移住定住対策や福祉分野などで活動している。任期満了後も村への定住につながる例が複数生まれ、第1次産業での担い手の確保や新たな交流人口拡大など、多様な効果を感じている。課題は任期満了後も村に残れるよう定住に向けた支援が重要である。

漁業者への経済的支援を

問 本村の基幹産業である漁業の不振は深刻な問題であるが、当面の経済的補てんなど支援の考え方は。

村長 村の水産業の根幹を揺るがす事態で深刻に受け止めている。長期化の懸念もあり、漁業者が継続して漁業を営むために必要な支援策の対応を見極めていきたい。

ワイナリーの経営状況は

問 涼海の丘ワイナリーの前年度決算が報告され、醸造8年目で売上高1478万7千円（対前年度884万6千円減）で、当期純利益は1152万4千円の赤字（対前年度361万6千円増）ということであった。売上が減少になると赤字も増えるように思うがなぜか。

村長 ワイン販売単価の値上げによる売上原価率の減、及び経営努力による販売管理経費の減に起因するものと認識している。



涼海の丘ワイナリー

問 単独の決算は累積で黒字か赤字か。毎年度末の数値を示せ。

村長 累積では令和5年度末時点で517万4千円の赤字。年度

末ごとが、平成28年度△837万4千円、29年度△192万3千円、30年度△590万1千円、令和元年度△668万3千円、2年度は588万9千円の黒字、3年度は△811万7千円、4年度は△1514万円、5年度は△1152万4千円となっている。

問 「株式会社のだむら」の財政状況報告は4事業だが、事業ごとに報告が肝要だが考え方は。

村長 部門ごとの状況報告もなされているが、さらに分かりやすい表現を求めている。

問 今後の見通しは。

村長 ワイナリー事業は厳しい経営状況が続いているが、社内各部門で販売することで売上を確保し、経営に貢献しているほか、生産者支援や農地の維持・管理・村特産品PR等の意義もある。

ごみ収集日週1回、2回の地域格差理由は

問 ごみ処理は、「なぜ地域により回数の違いがあるのか」と村民の素朴な疑問がある。わかりやすい説明を示せ。また7、10月に実施した全地区週2回試行で見えたものはあるか。

村長 収集回数数の明確な基準はないが、集積所の箇所数及び人口等から排出量が多く、集積所に収納しきれない場合があり、複数回、回収する地域が設定され現在に至っている。

今年度全地区週2回の収集を試行的に実施したが、可燃ごみの収集量は前年同時期を比較すると減量となっている。

再質問 世帯数が増えている地区もあり、現状に正しく反映されていないと思うが。

村長 全体的な見直しの必要性も考えながら検討していく。

【その他の質問】
○水道水調査について
○災害避難行動について

現状と対策は

村長 関係機関と連携し対応していく



米田 徳一郎 議員

農業振興について

問 担い手不足や高齢化、農地の集積による農機具の大型化に伴う経費の負担増など課題が多く、対策、支援が必要と考える。食の安全・安心と安定供給を計画的に進めるべき。

村長 村では「食料・農業・農村基本計画」で基本的な方針に掲げる食料自給率の向上と食料安全保障を確立するため、令和5年9月に「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」を定めている。就農から経営発展まで一貫した、きめ細やかなサポートにより新規就農者の確保・育成や円滑な経営継承等を図り、今後も村民の食の安全・安心と安定供給に努めていく。

問 米価の高騰に伴う困窮者世帯への支援は。

村長 重点支援交付金など財源の確保も含め、状況を見極め適切に対応したい。

問 飯米・餌米の単価格差、農協の概算金差額の是正を。

村長 村としては、単価格差に対し一定の支援がなされているものと捉えているが、生産者の実情・意向等を踏まえながら、関係機関と連携し、必要に応じて対応したい。

漁業振興について

問 秋サケの不漁、ホタテ貝のへい死、貝毒の異常発生等による漁家の苦しみを一日でも早く解消し、安定経営ができるよう支援をすべき。「サケ・マスふ化事業」の見通しと対策、支援は。

村長 種苗生産を担う下安の家漁協では、回帰率の向上に有効な健康で大きな稚魚を生産・放流する取り組みを実施しており、村としては継続して取り組みを支援したい。

問 「ホタテ養殖」の課題と対策支援は。

村長 貝毒の発生や夏場のへい死等、安定出荷が見通せないことから、収入の不安定化が課題であり、このような状況が続けば、ホタテ養殖を断念する漁業者の出現や担い手確保が進

まず、「荒海ホタテ」の生産が縮小される事態も憂慮される。漁業者の生計維持や水産業を維持していくためには、環境変化に対応した養殖品目の導入も視野に入れ、新たな取り組みへの支援をはじめ、漁業継続に必要な支援策、対応を見極めていきたい。



ホタテの選別風景

問 磯場の再生でウニ・アワビの増殖を図りながら陸上養殖などで漁業者の安定経営に努めるべき。

村長 他地区では、ウニの陸上養殖や漁港泊地を利用し給餌養殖でウニの食害を防ぎ、藻場の再生にも取り組むなど本村にも参考になると考える。安定的な磯資源の確保は豊かな海の証であると同時に、多くの漁業者に利益となることから漁協や漁業者と連携・情報共有し必要に応じて支援していきたい。

林業振興について

問 「いわての森林づくり県民税」、「森林環境譲与税」の当村における事業内容と成果は。

村長 いわての森林づくり県民税については「いわて環境の森整備事業」や「林野火災予防対策事業」に充当され事業実施されている。森林環境譲与税の主な事業は「森林病害虫等の駆除事業」や「林道維持」、「林地台帳システム等の導入」。昨年度は「アジアの広場橋架替修繕」を実施した。本年6月の橋架替記念イベントでは、多くの村民と交流する機会が生まれ、木材利用の促進と人口交流創出にもつながった。今後、森林の公益的機能の維持・増進及び森林資源の循環利用が図られるよう適正な基金管理を図っていききたい。

【その他の質問】

- 商店街の復興、まちなか賑わい再生について
- 建設業関係者の現状と課題、事業の掘り起こしと支援について
- 都市計画区域の見直しと土地利用計画の制定について
- 復興交付金の過大受領について

議案一覧

第6回定例会 12月10日～13日

議案番号	議案名・議案内容	議決結果
報告第1号	公用車の運行管理瑕疵に係る損害賠償事件に関する専決処分の報告について	-
承認第1号	令和6年度野田村一般会計補正予算（第6号）の専決処分に關し承認を求めることについて	承認 (賛成全員)
議案第1号	令和6年度野田村一般会計補正予算（第7号）	可決 (賛成全員)
議案第2号	令和6年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	
議案第3号	令和6年度野田村簡易水道事業会計補正予算（第2号）	
議案第4号	令和6年度野田村下水道事業会計補正予算（第2号）	
議案第5号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	
議案第6号	特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
議案第7号	野田村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第8号	一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第9号	会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第10号	子ども、妊産婦、重度心身障害者、ひとり親家庭及び寡婦等医療費給付条例の一部を改正する条例	
議案第11号	交流物産等複合施設の指定管理者を指定することに関し議決を求めることについて	
議案第12号	財産の取得に関し議決を求めることについて	
議案第13号	財産の取得に関し議決を求めることについて	
発議案第1号	県立久慈病院の医師等医療従事者の確保、高度医療機器の更新による機能の充実を求める意見書の提出について	

※議長は採決に加わらない



議会傍聴できます！

村議会定例会は、3月・6月・9月・12月に行われています。
傍聴の手続きは、受付簿に必要事項を記入するだけなのでとても簡単です。
村の将来やあり方についての議論を直接聞くことができます。皆様の傍聴をお待ちしております。

次の定例会は 3月です



議員の
活動を
紹介します!

主な議会の動き

● 10月 ●

- 1日 県町村議会議長会臨時総会・政務調査会（盛岡市） 議長
- 3日 東津軽郡議長会行政視察受入 議長、総務教民・産業常任委員長
- 7～11日 北部地区町村議会議長会要望活動・行政視察（県外） 議長・副議長
- 15日 村政調査会 全議員
- 24～25日 全国漁港・漁場大会（東京都） 議長
- 25日 町村議会議員シンポジウム（盛岡市） 議員2名
- 29～31日 政務調査会研修会（熊本県） 議長

● 11月 ●

- 6～7日 町村議会広報担当者研修会（花巻市） 議員5名
- 12～13日 町村議会議長全国大会・政務調査会研修会（東京都） 議長・副議長
- 19日 村政調査会・議員研修会 議員全員
- 20日 久慈東高等学校創立20周年記念式典・講演会 議長
- 24日 野田村社会福祉大会 議員

● 12月 ●

- 6日 議会運営委員会・議員全員協議会 全議員
- 10日 村政功労者表彰式 全議員
- 10～13日 第6回野田村議会定例会 全議員
など



議会のデジタル化を研修

- 11月19日に講師を招いて「議会会議システム」導入に向けたタブレット端末の操作研修会を行いました。議会のペーパーレス化などの検討材料にしていきます。

有害鳥獣に係る補助制度など意見交換

- 10月3日、青森県東津軽郡町村議会議長会8名が「野田村における鳥獣被害対策について」研修視察のため来村しました。村の状況など担当課から説明を受け、活発な意見交換が行われました。



町探検で議場を見学

- 11月8日、野田小学校2年生5名が「町探検」で役場庁舎見学をしました。議会事務局では、議会についての質問や議場を見学しました。また来てくださいね。



街灯を増設してほしい!



取材日は野田村体育館で練習

今回は『スポ少野田のんちゃんS』

11月29日、「スポ少野田のんちゃんS」の皆さんにお話を伺いました。普段は十府ヶ浦公園周辺で練習をしています。県内外の駅伝大会に出場していて、先日は久慈もぐらんぴあ駅伝競走大会に出場しました。

メンバーは現在28名。中には1000m走で地区1位になった子も。目標はさまざまで「大会で1位になりたい」「友達に勝ちたい」、マラソン大会で「1位になりたい」「3位になりたい」「5位になりたい」「少しでも速くなりたい」などいろんな目標を持って練習に励んでいました。



夕方暗い時の練習、気をつけて走ってください。

取材後に設置されました▶ (十府ヶ浦公園トイレ正面)



☆村へ～

子ども達からの声☆

- ★十府ヶ浦公園周辺に街灯を増設してほしい。
- ★十府ヶ浦公園遊具付近にアナログ時計を設置してほしい。
- ★練習に使う、ミニハードルとスターティングブロックが2～3個ほしい。

議会だよりクイズ

問題

12月定例会の議案は何件でしょう？

- ① 10件
- ② 13件
- ③ 16件



◀こちらからも応募できます！村ホームページ「議会だよりのだ」につながります。スマートフォン等のカメラ機能で読み取ってください。

【前号の答え】 ② 4人
【当選者】 尾崎由羽美さん、北田新太さん、久慈愛珠さん

正解者の中から抽選で3名の方に「野田村共通商品券」をプレゼント!

【応募方法】

はがきやFAXなどで、答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、連絡先を記入してご応募ください。応募フォームからも応募できるようになりました。応募は1人1通までとし、匿名での応募は受け付けません。議会だよりに対するご意見もお待ちしております。

【応募先】

〒028-8201 九戸郡野田村大字野田20-14 野田村議会事務局「議会だよりクイズ」係まで。FAXの場合は 0194-78-3995 まで

【締め切り】 3月6日消印有効。

【当選発表】 次回号で当選者(特に断りが無い限り氏名)を発表します。

あとかぎ

昨年は、能登半島地震に始まり全国各地で大震災等が頻発した年でした。本年はどうか災害のない、明るいな年になりますよう心から願っています。

さて、現在村では、大型事業の「交流物産等複合施設」及び「野田小学校」の建設が進められ本年完成します。皆さんも心待ちにしていることと存じます。完成後は、みんなで盛り上げていきましょう!

今回の議会だよりは12月定例会での議案等審議のほか、6名の一般質問や請願内容などが載っていますのでお読みください。そして、ご意見等お寄せいただければ幸いです。議会だよりクイズの応募もお待ちしています。

昨年暮れ、約9か月ぶりに出荷規制が解除になった特産品の「荒海ホタテ」。このまま規制されることなく、たくさんの人に楽しんでいただけるよう願っています。

前川 安男

発行責任者

議長 米田 忠一

広報編集委員会

- 委員長 前田 安子
- 副委員長 中山 陽和
- 委員 中川 大昇
- 委員 米田 一郎